

健保だより

2023年4月4日
日東電工健康保険組合

URL <http://www.nittodenko-kenpo.or.jp/>

マスクの着用は個人の判断となり、5/8から新型コロナウイルス感染症は、'5類'へと変わります。ようやく社会も変わり始めたところですが、手洗いやせきエチケットの励行など、防疫対策は継続していきましょう。

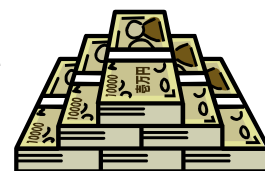
さて、今回の「健保だより」には、2023年度の予算や各種のおしらせを掲載しました。必ずお目通しください。

I. 2023年度＜健康保険＞予算

2023年度も保険料率を引き上げずに、予算を編成する事ができました。

1. 予算方針 …… 財政基盤を安定させ、コラボヘルスで健康レベル向上

2022年度は黒字決算となり、収支差は約14億円の見込みです。好業績に起因する保険料収入の増加が要因ですが、高齢者の医療費は増加しており、支え手である現役世代の負担は、更に厳しいものになっていきます。



2. 予算

項 目		予 算 額	項 目		予 算 額
収 入	保 険 料	6, 1 1 6 M ¥	支 出	保 険 給 付 費 * 1	3, 2 0 2 M ¥
	繰 入 金	8 3 0		保 健 事 業 費	3 0 8
	そ の 他	3 5		納 付 金 等 * 2	3, 1 6 0
				予 備 費	1 5 1
				そ の 他	1 6 0
	計	6, 9 8 1		計	6, 9 8 1

* 1 : 保険給付費は、その大半が加入者の医療費です。

* 2 : 納付金等とは、高齢者の医療制度を支える為に国へ納付するお金です。

① 収入予算

保険料収入だけでは支出を賅えず、繰入金を投入して収支の均衡を図ります。

② 支出予算

納付金は、前年比で4.5億円の負担増です。保健事業費は前年並みで各種の健診事業を継続していきます。

II. 2023年度＜介護保険＞予算

こちらも保険料率を引き上げる事無く、予算を編成する事ができました。

- 介護納付金は前年度比で、59M¥増加。介護保険の利用者拡大で、我々の負担はさらに厳しくなっていきます。少子高齢化の影響で負担が増すのは健康保険と同じです。

2. 収支

項 目		予 算 額	項 目		予 算 額
収	介護保険料	5 7 7 M ¥	支	介護納付金	8 2 3 M ¥
	繰 入 金	2 5 1		そ の 他	5
入	計	8 2 8	出	計	8 2 8

Ⅲ. お知らせ

1. 被扶養配偶者健診

39歳以下の被扶養配偶者が対象となる健診です。一昨年から、一般健診の費用補助を1万5千円に引き上げました。また、ネットワーク健診は、がん検診を含む充実したメニューですが、自己負担なしで受診いただけます。7月には日本予防医学協会から対象者のご自宅へ「健康診断ご案内」が郵送されますので、積極的に受診いただくようよろしくお願いいたします。

2. 胃のバリウム検査

生活習慣病健診の胃バリウム検査は、コロナ下では検診バスによる集団検診を見合わせておりました。しかし、今年度はコロナ前に戻し、集団健診の拠点では、検診バスを復活させますので、手軽に受診できるようになります。詳細は、各会社・拠点ごとに発出される定期健診の案内を参照してください。

3. 春は異動のシーズンです

ご家族が就職されたり、進学などで別居する事になった際には、それぞれ手続きが必要です。該当する方は、当組合へ必ず関係書類を提出してください。詳細は担当課へお問い合わせください。

4. 当組合の平均標準報酬月額

2023年度は41万円となり、2022年度と同額です。



5. オンライン資格確認システム

マイナンバーカードを保険証として利用できる仕組みが始まっています。このシステムが導入された医療機関等の窓口では、マイナンバーカードで加入する健康保険組合等の資格情報を確認できるため、保険証として利用できます。

- ※マイナンバーカードを保険証として利用するには、マイナポータルでの事前登録が必要です。
 - ※受診する際は、マイナンバーカードで受付できる医療機関・薬局かどうか事前に確認してください。
- オンライン資格確認ができなくても、お手持ちの保険証で受診することは可能です。

6. 出産育児一時金の引き上げ

2023年4月以降の出産に対して、出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられました。(在胎週数 22 週未満の出産や産科医療補償制度未加入分娩機関での出産は 488,000 円)

URL <http://www.nittodenko-kenpo.or.jp/>

～Nitto健保のホームページはご自宅でご家族にもご覧いただけます～

